

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社CSSホールディングス

コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林田 喜一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務室長

(氏名) 岩見 元志

TEL 03-6661-7840

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	6,475	△2.4	187	△27.6	113	△52.5	81	△58.0
24年9月期第2四半期	6,637	2.8	258	29.8	238	14.5	194	27.1

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 151百万円 (△31.9%) 24年9月期第2四半期 222百万円 (39.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	1,616.51	1,601.81
24年9月期第2四半期	3,848.83	3,813.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	7,013	1,744	24.9	34,581.90
24年9月期	6,918	1,618	23.4	32,075.30

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 1,744百万円 24年9月期 1,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,287	5.9	211	62.5	156	71.5	109	96.0	2,164.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期2Q	52,856 株	24年9月期	52,856 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	2,408 株	24年9月期	2,408 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期2Q	50,448 株	24年9月期2Q	50,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成24年11月19日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスによる先行き期待感から、徐々に持ち直しを見せ、年初からの株高や円安に後押しされるように各企業収益も下げ止まり、設備投資は回復の兆しがみられております。全体的には、企業マインドは改善の傾向が強まり、消費者マインドについても、新政権の経済政策への期待などから持ち直しつつあります。

これらを踏まえ、先行きの日本経済は、緩やかに回復するとみられ、春先からは補正予算で追加された公共事業が順次執行されることによる公共投資の増勢が強まると予測されております。これに伴い、雇用・所得環境の改善が期待され、個人消費も緩やかに回復するとみられております。

一方で、デフレ脱却の必要条件の一つとして、賃金の動向が注目されており、先ごろ政府が経済3団体のトップに対し、業績改善企業に報酬引き上げを検討するように要請したことは記憶に新しいところであります。これに応える形で、既に一部の企業で一時金等を引き上げる動きも出始めておりますが、賃上げの動きが産業全体に広がるにはまだまだ時間を要するとみられております。

このような環境下、当社グループは経営効率の向上を図り、新規顧客の開拓と既存顧客からの収益の確保に努めるとともに、採算性の確保に傾注しながら、引き続き事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高6,475百万円（前年同期比2.4%減）、連結営業利益は187百万円（前年同期比27.6%減）、連結経常利益は113百万円（前年同期比52.5%減）、連結四半期純利益は81百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

① スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（ＣＳＳ）

当事業は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、ホテル・レストランの稼働状況に合わせた効率的な運営を行うとともに、新規案件獲得に向けて、営業を強化したことで、スチュワード業務については、新たに6件の新規受託、客室清掃業務については1件を新規に受託いたしました。

この結果、売上高は2,628百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は104百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

② 総合給食事業 株式会社センダン（ＳＤＮ）

当事業は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新たに2件の受託を開始し、それぞれの事業所においては効率的な人員配置、仕入価格の変動に応じた弾力的な運営による費用の圧縮を図りました。

この結果、売上高は1,129百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は16百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

③ 映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（ＴＭＬ）

当事業は、日本のＢＧＭのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティ・システム、映像・音響システムの販売・設計・施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核事業です。

当第2四半期連結累計期間においては、大手金融機関を中心とした各種設備工事の受注、商業施設・ブランドショップを中心とした音響・映像設備工事を受注いたしました。

また、音楽事業については、次世代ＩＭＳへの取り組みへ着手するとともに、平成24年12月に本社社屋内に新スタジオを完成させ、機能の充実を図りました。

この結果、売上高は1,723百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は47百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

④音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（ＯＴＫ）

当事業は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入及び販売事業を展開しております。

当第２四半期連結累計期間においては、各種展示会出展を通じての広告・宣伝活動、代理店機能の更なる充実による販売力の強化を推進し、官公庁・ホテル・テーマパーク・劇場・学校等幅広く音響機器の納入を行いました。

この結果、売上高は1,030百万円(前年同期比5.6%減)、営業利益26百万円(前年同期比53.6%減)となりました。

⑤総務・人事・経理管理事業 株式会社ＣＳＳビジネスサポート（ＣＢＳ）

当事業は、総務・人事・経理業務をグループ会社より受託しております。

当第２四半期連結累計期間においては、外部企業複数社の給与計算業務の受託を継続するとともに、グループ各社の管理業務の効率化を推進しました。

この結果、業績は計画どおり推移いたしました。

(２) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第２四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べて95百万円増加し、7,013百万円となりました。資産の増減の内訳は流動資産が152百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金163百万円の増加によるものであります。固定資産については57百万円の減少となりました。主な要因は、投資その他の資産61百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて31百万円減少し、5,268百万円となりました。負債の増減の内訳は流動負債が190百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金194百万円の増加によるものであります。固定負債については221百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金213百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて126百万円増加し、1,744百万円となりました。主な要因は四半期純利益81百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当25百万円による利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金が70百万円増加したことによるものであります。

(３) キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より47百万円増加し、1,900百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が112百万円となり、売上債権の増加163百万円、仕入債務の増加194百万円などがあり、得られた資金は186百万円（前年同期は191百万円の取得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入・払戻による60百万円の収入等により、得られた資金は54百万円（前年同期は1,121百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金100百万円の借入及び短期借入金118百万円の増加による収入がありましたが、長期借入金350百万円の返済及び社債の償還85百万円による支出、配当金の支払24百万円により、使用した資金は288百万円（前年同期は1,401百万円の取得）となりました。

(３) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における当期の連結業績予想は、平成24年11月19日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
 (１) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,793	2,304,164
受取手形及び売掛金	1,535,192	1,698,828
商品及び製品	247,717	270,512
仕掛品	87,715	66,307
原材料及び貯蔵品	14,857	19,902
未収還付法人税等	15,066	13,375
繰延税金資産	21,188	16,244
その他	70,558	67,142
貸倒引当金	△960	△814
流動資産合計	4,303,128	4,455,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	748,783	780,701
減価償却累計額	△137,595	△196,643
建物及び構築物（純額）	611,187	584,057
土地	953,028	953,028
その他	71,081	90,788
減価償却累計額	△46,413	△51,200
その他（純額）	24,668	39,588
有形固定資産合計	1,588,884	1,576,675
無形固定資産		
その他	63,416	80,100
無形固定資産合計	63,416	80,100
投資その他の資産		
投資有価証券	345,538	449,607
長期預金	290,000	190,000
その他	327,079	261,199
投資その他の資産合計	962,618	900,807
固定資産合計	2,614,919	2,557,582
資産合計	6,918,048	7,013,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	557,553	751,852
短期借入金	1,290,000	1,408,335
1年内償還予定の社債	150,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	673,662	636,302
未払金	553,220	546,474
未払法人税等	26,279	21,406
賞与引当金	121,880	88,995
資産除去債務	20,000	—
その他	149,206	148,675
流動負債合計	3,541,800	3,732,039
固定負債		
社債	120,000	55,000
長期借入金	1,384,708	1,171,278
繰延税金負債	20,303	54,545
退職給付引当金	185,877	188,475
長期未払金	22,934	22,544
資産除去債務	721	721
負ののれん	2,772	393
その他	20,794	43,659
固定負債合計	1,758,112	1,536,618
負債合計	5,299,913	5,268,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	277,699	277,699
利益剰余金	1,049,550	1,105,876
自己株式	△98,168	△98,168
株主資本合計	1,622,644	1,678,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,509	65,617
その他の包括利益累計額合計	△4,509	65,617
純資産合計	1,618,134	1,744,587
負債純資産合計	6,918,048	7,013,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	6,637,750	6,475,387
売上原価	5,445,330	5,374,933
売上総利益	1,192,419	1,100,453
販売費及び一般管理費	933,600	913,143
営業利益	258,819	187,310
営業外収益		
受取利息	1,077	545
受取配当金	3,315	3,723
仕入割引	4,849	4,061
負ののれん償却額	2,378	2,378
持分法による投資利益	2,893	1,920
その他	8,931	11,791
営業外収益合計	23,445	24,420
営業外費用		
支払利息	34,296	35,331
投資事業有限責任組合等出資金損失	757	1,117
支払手数料	—	45,000
その他	8,500	16,855
営業外費用合計	43,554	98,304
経常利益	238,710	113,425
特別損失		
適格退職年金制度終了損	14,877	—
固定資産除却損	—	683
特別損失合計	14,877	683
税金等調整前四半期純利益	223,832	112,742
法人税、住民税及び事業税	31,701	26,634
法人税等調整額	△2,035	4,557
法人税等合計	29,666	31,192
少数株主損益調整前四半期純利益	194,165	81,549
四半期純利益	194,165	81,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194,165	81,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,420	70,126
その他の包括利益合計	28,420	70,126
四半期包括利益	222,585	151,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,585	151,676

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	223,832	112,742
減価償却費	13,769	73,718
負ののれん償却額	△2,378	△2,378
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,184	2,598
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,405	△32,885
前払費用の増減額(△は増加)	8,315	12,339
受取利息及び受取配当金	△4,393	△4,268
支払利息	34,296	35,331
売上債権の増減額(△は増加)	△485,257	△163,636
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,571	△6,432
仕入債務の増減額(△は減少)	284,400	194,299
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,351	△8,356
未収消費税等の増減額(△は増加)	△177	115
その他	60,761	34,103
小計	204,870	247,291
利息及び配当金の受取額	4,899	4,161
利息の支払額	△27,491	△35,394
法人税等の支払額	△13,342	△43,614
法人税等の還付額	22,115	13,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,051	186,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△533,500	△100,000
定期預金の払戻による収入	533,500	160,000
有形固定資産の取得による支出	△1,117,953	△47,571
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△4,370
投資有価証券の取得による支出	△2,500	△2,674
その他	2,263	49,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,121,189	54,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	125,552	118,335
長期借入れによる収入	1,650,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△266,723	△350,790
社債の償還による支出	△102,000	△85,000
配当金の支払額	△4,982	△24,362
その他	—	△47,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,401,846	△288,863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,708	△47,628
現金及び現金同等物の期首残高	2,049,785	1,948,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,521,494	1,900,632

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチ ュー ド管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧 客に対す る売上高	2,467,600	1,085,998	1,070,288	2,008,161	6,632,050	5,700	6,637,750	—	6,637,750
(2) セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	—	2	20,673	2,161	22,837	110,008	132,845	△132,845	—
計	2,467,600	1,086,000	1,090,962	2,010,323	6,654,887	115,708	6,770,595	△132,845	6,637,750
セグメント 利益	60,357	31,696	57,831	80,588	230,474	4,688	235,162	23,656	258,819

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額23,656千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュー ード管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客に対す る売上高	2,627,721	1,129,677	989,644	1,720,587	6,467,630	7,756	6,475,387	—	6,475,387
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	400	293	40,494	3,019	44,207	112,506	156,713	△156,713	—
計	2,628,121	1,129,971	1,030,139	1,723,606	6,511,838	120,262	6,632,101	△156,713	6,475,387
セグメント 利益	104,300	16,498	26,846	47,852	195,498	13,822	209,321	△22,011	187,310

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△22,011千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。